

まちのわだい

みんなの力を合わせて…

第9回風越カップ全日本少年アイスホッケー大会(3月27日～30日、長野県軽井沢町)に帯広選抜で出場する浦幌小6年の佐藤愛梨さんが、3月5日に教育委員会を訪れ、久門教育長に抱負を話しました。佐藤さんは「チームのみんなとコミュニケーションを取って、いいプレーが出来るように頑張りたい」と話し、久門教育長は「男の子に交じってプレーするのは大変だと思いますが、みんなで力を合わせて、いい成績を残せるように頑張ってください」と激励しました。



全国での活躍を期待しています。

楽しいステージで会場盛り上がる!

2月8～22日にかけて、町内各公民館で『公民館まつり』が開催されました。

8日に開催された上浦幌公民館まつりでは、恒例のひまわり保育園の園児による『はしごのり』が披露されたほか、上浦幌中央小児童と上浦幌中学生が合同で合唱を披露しました。16日には厚内公民館まつりが開催され、幼稚園児のお遊戯や厚内小児童による『さけの燻製づくり』の発表があったほか、地域の芸達者によるユニークなステージで会場を盛り上げました。また、吉野公民館では19日～22日の期間、文化週間として開催、作品展やかるた大会が行われたほか、芸能発表では“三味線集団ムジヨン”がゲストで登場し、津軽じょんから節などを披露。来場者は日本一の演奏に聴き入っていました。



たくさんの地域の方が来場し、会場は賑わいを見せていました。

皆さんのお役に立てば…

2月28日、心友愛会(星愛子代表)が町内の園児たちに交通安全を願うお守りを寄贈しました。今年で7回目となるこの事業、今回は人気のゆるキャラ“くまモン”を会員たちが手作りし、お守りにしました。保健福祉センターを訪れた星代表からお守りを受け取った熊谷保健福祉課長は「園児たちに届けます。ありがとうございます」とお礼を述べました。

また、3月5日にはいちげの会(佐藤 佑子会長)が教育委員会を訪れ、町内小中学校で使用してもらうため、雑巾175枚を寄贈しました。会では50年近くこの事業を続けていて、雑巾はすべて会員による手縫い。心のこもった寄贈に、久門教育長は感謝の言葉を述べていました。



寄贈する心友愛会(写真上)といちげの会(写真下)の皆さん。

My Town Topics

チーム一丸で残した結果!

2月8・9日に開催された“第3回びわ湖カップなでしこサッカー大会(滋賀県野洲市)”に十勝選抜チームで出場し、全国8位になった浦幌小の山口莉瑚さん(6年)、藤森汐羅さん(6年)が教育委員会を訪れ、久門教育長に報告しました。

同チームは予選リーグを1位で通過しましたが、順位決定トーナメントで敗れ、8位となりました。二人は「相手は強く、自分らしいプレイは出せなかった。それでもチーム一丸となったおかげで、この結果を残せた」と話し、久門教育長は「浦幌を代表して、いい成績を残してきてくれたことを大変うれしく思います」と健闘を讃えました。



お二人の頑張りあっての結果です。お疲れ様でした!